

(次期) おびひろこども未来プラン策定にかかるアンケートについて

1. 調査の目的

2015年度(平成27年度)から施行されている「子ども・子育て支援法」において、市町村は国が示す基本指針に即して、5年を1期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を作成し、その計画の中では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びにそれに対する供給体制の確保の内容及び実施時期について定めることとされている。

「子ども・子育て支援法」第61条第1項に基づき、2020年度(平成32年度)を始期とする「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画(本市では「(次期)おびひろこども未来プラン」という。)」作成にあたり、現在の子育て支援事業等の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うことから、本調査を実施しようとするもの。

2. 調査対象及び客体

2018年10月25日時点の住民基本台帳を用いて、市内の就学前(0~5歳)児童のいる世帯1,000世帯を地域別は無作為に抽出し客体とする。

3. 調査票及びかがみ文

児童育成部会委員等に調査票(案)について確認依頼し、意見をいただき反映したもの。

4. 調査の期日

配布:2018年11月2日(金)、 締切:11月22日(木)

5. 発送方法

あらかじめ抽出された被調査世帯にメール便により発送。調査票右上位置に地区別に連番を付しているが、個人の特定はしていない。

6. 回収方法

返信用封筒により回収。

回収率を50%と見込んでおり、信頼度95%、標本誤差5%とした場合の統計学上の必要サンプル数は384件となる。回収率を上げるため幼稚園や保育所等にポスター掲示を依頼。

7. 集計結果の公表

集計結果の速報については、児童育成部会及び全体庁議で報告した後、2019年1月の厚生委員会にて報告予定。調査結果を基にした分析結果は、児童育成部会及び全体庁議で報告した後、2019年5月の厚生委員会にて報告予定。

(次期) おびひろ子ども未来プラン策定にかかるアンケート 0～5歳 抽出数算出表

0～5歳 帯広市地区別年齢別人口構成
平成30年10月25日現在

年齢	生年月日	地区別内訳(人)							市全体(人)	アンケート数(人)	
		東(1)	鉄南(2)	西(3)	川北(4)	西帯広(5)	南(6)	農村(7)			
0歳	H29.4.2 ~ H30.5.31	145	198	457	195	146	305	54	1,500	就学前合計	8,032
1歳	H28.4.2 ~ H29.4.1	114	167	359	176	133	265	61	1,275		
2歳	H27.4.2 ~ H28.4.1	112	161	341	169	133	305	39	1,260		
3歳	H26.4.2 ~ H27.4.1	122	158	355	184	148	317	52	1,336		
4歳	H25.4.2 ~ H26.4.1	100	181	375	168	143	280	49	1,296		
5歳	H24.4.2 ~ H25.4.1	134	149	357	196	150	325	54	1,365		
合計		727	1,014	2,244	1,088	853	1,797	309	8,032		

地区別年齢別送付件数

■アンケート送付数と対象人口から抽出率を算出し、地区別年齢別に割り振る

年齢	生年月日	地区別内訳(人)							市全体(人)	アンケート数(人)	
		東(1)	鉄南(2)	西(3)	川北(4)	西帯広(5)	南(6)	農村(7)			
0歳	H29.4.2 ~ H30.5.31	18	25	57	24	18	38	7	187	就学前合計	1,000
1歳	H28.4.2 ~ H29.4.1	14	20	45	22	17	33	8	159		
2歳	H27.4.2 ~ H28.4.1	14	20	42	21	17	38	5	157		
3歳	H26.4.2 ~ H27.4.1	15	20	44	23	18	39	6	165		
4歳	H25.4.2 ~ H26.4.1	12	23	47	21	18	35	6	162		
5歳	H24.4.2 ~ H25.4.1	17	19	44	24	19	40	7	170		
合計		90	127	279	135	107	223	39	1,000		

地区別年齢別抽出件数(各区分ごとに1割の補欠者を加えて抽出する)

年齢	生年月日	地区別内訳(人)							市全体(人)	アンケート数(人)	
		東(1)	鉄南(2)	西(3)	川北(4)	西帯広(5)	南(6)	農村(7)			
0歳	H29.4.2 ~ H30.5.31	20	28	63	27	19	42	7	206	就学前合計	
1歳	H28.4.2 ~ H29.4.1	15	22	50	24	19	36	9	175		
2歳	H27.4.2 ~ H28.4.1	15	22	46	23	19	42	6	173		
3歳	H26.4.2 ~ H27.4.1	17	22	48	25	20	43	6	181		
4歳	H25.4.2 ~ H26.4.1	13	25	52	23	20	38	7	178		
5歳	H24.4.2 ~ H25.4.1	19	21	48	26	21	44	8	187		
合計		99	140	307	148	118	245	43	1,100		

■対象児童の抽出について

地区・年齢別の対象人口から、配布数1,000件となる抽出率(12.45%)を算出し、地区別・年齢別に割り振りをする。

各地区・年齢ごとに補欠者(1割)を加えて抽出する。

▽抽出の条件

- ①1世帯から複数の児童を抽出しない(複数の児童が抽出された場合は、年齢の低い児童を優先)
- ②施設入所児童は除く

■発送までの対象児童の異動について

抽出後から発送前日までの住民登録の異動(転出、死亡など)があった場合は、補欠者から対象者を繰り上げる。

子ども・子育て支援に関するアンケート調査ご協力をお願い

皆様には、日頃から市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、現在「おびひろ子ども未来プラン」及び「帯広市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種事業に取り組んでいるところです。また、2020年度から両計画を一本化し、10年間を計画期間とする「(次期)おびひろ子ども未来プラン」の策定の準備を進めています。

この調査は、次期計画策定にあたり、皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために、就学前のお子さんがいらっしゃる方の中から無作為に選ばせていただいた世帯にご協力をお願いするものです。

ここで回答していただいた内容(施設や事業の利用希望等)は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。また、回答者個人が特定されたり、個々の内容がほかに漏れたり、ほかの目的に利用されることも一切ございません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月

帯広市長 米沢 則寿

《 ご記入に際してのお願い 》

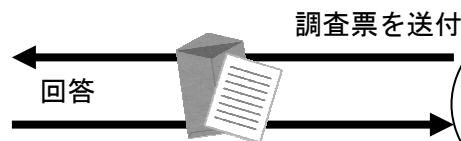
1. 特に注意書きがある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. 回答に選択肢がある場合は、あてはまる番号を○で囲んでください。(○は1つ)などの説明がある場合には、その説明にしたがってください。
4. 回答が「その他」にあてはまる場合は、その番号を○で囲み、()内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
5. 質問によっては数字を記入していただく場合もあります。なお、時間については、24時間制でご記入ください(例：午後6時は18時)。
6. お子さんやご両親の年齢は、すべて平成30年11月1日現在でご記入ください。
7. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますのでご注意ください。
8. ご記入後、同封の返信用封筒に入れて、平成30年11月22日(木)までにご投函ください。切手を貼る必要はございません。
9. このアンケート用紙にも、返信用封筒にも名前を書く必要はございません。
10. 記入上の不明点や調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

帯広市 こども未来部 こども課
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地
TEL:0155-65-4158 (直通)、FAX:0155-23-0155
mail: children@city.obihiro.hokkaido.jp

いただいた回答は帯広市の子育て支援施策の充実に生かされます！



子育て家庭



アンケート調査等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や希望等を把握



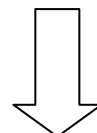
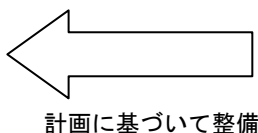
帯広市 子ども・子育て会議等



保育所・幼稚園・認定子ども園



一時預かり・地域子育て支援・児童保育センター等



調査等によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定

(次期) おびひろ子ども未来プラン
(10か年計画)

幼児期の保育・教育や子育て支援について
・「量の見込み(現在の利用状況や利用希望)」
・「確保方策(確保内容や実施時期)」を記載

【用語の定義】

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3歳から就学前児童を教育・保育する施設で、市内に9施設あります
- ・預かり保育：幼稚園において、通常の教育時間以降や夏休み等の長期休暇期に児童を預かる事業
- ・認可保育所：児童福祉法に基づき北海道から認可を受け、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設で、市内に26施設あります
- ・認定子ども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設で、市内に4施設あります
- ・小規模保育施設：国の最低基準に適合した定員が6～19名の施設で、市内に1施設あります
- ・事業所内保育施設：企業が主に従業員用に運営する施設で、市の認可を受けた施設が市内に1つ内閣府から直接運営費の助成を受けた企業主導型保育施設が5つあります
- ・ファミリーサポートセンター：地域住民が自宅等で子どもを預かる事業
- ・地域子育て支援センター：市内6か所の保育所で、子育て親子の交流の場の提供や、子育て情報の提供、子育て相談などを行う施設

(次期) おびひろ子ども未来プラン策定にかかるアンケート

※ 基本的に全ての問題に回答いただきます。回答内容によっては、次の設問は不要となる場合もありますので、問〇〇の上の< >内のコメントを確認してください。

封筒の宛名のお子さんご家族の状況

問1 封筒の宛名のお子さんの生年月と、上から何番目のお子さんにあたるかを口内にご記入ください。

(例：30年3月→年 月、4人兄弟だが封筒の子が3番目→番目)

平成 年 月生まれ 上から 番目

問2 おさんは全員で何人ですか。また、お子さんが2人以上の場合、一番小さいお子さんの生年月を口内にご記入ください。(例：年 月)

お子さんの数 人 一番小さい子の生年月 平成 年 月生まれ

問3 このアンケートに回答される方はどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父親 2. 母親 3. その他 ()

問3-1 このアンケートに回答される方の年代にあてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 20歳未満 2. 21歳～24歳 3. 25歳～29歳
4. 30歳～34歳 5. 35歳～39歳 6. 40歳～44歳
7. 45歳～49歳 8. 50歳以上

問4 宛名のお子さんと同居されているご家族について、お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。お子さんやお子さんのきょうだいは除いてください。(単身赴任等で別居している場合でも同居としてください。)

1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. 曾祖父
6. 曾祖母 7. その他 ()

子育ての環境について

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

家庭では 1. 父親 2. 母親 3. 祖父母
4. その他 ()
施設では 5. 幼稚園・保育所・認定子ども園 6. その他保育施設(事業所内保育所、託児所など)
7. 地域子育て支援センター 8. その他 ()

問6 宛名のお子さんの子育てや成長に、影響が大きいと思われる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園・保育所など 4. その他 ()

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母や親戚などにみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には、祖父母や親戚などにみてもらえる
3. 日常にお子さんをみてもらえる友人や知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には、お子さんをみてもらえる友人や知人がいる
5. いずれもない

問8 宛名のお子さんの子育てをするうえで、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 相談者がいる・相談できる場所がある 2. いない

<問8で「1」と回答した方>

問8-1 気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母などの親族 2. 友人や知人 3. 保健師 4. 地域担当保育士
5. かかりつけの医師 6. 近所の人 7. 民生委員・児童委員
8. 幼稚園・認定子ども園 9. 保育所 10. 地域子育て支援センター
11. 市子ども課窓口 12. 保健福祉センター窓口 13. その他 ()

問9 子育てをするうえで、周囲からどのようなサポートがあればよいと考えますか。それぞれの時期において、具体的な内容をご自由にお書きください。

1. 妊娠中 ()
2. 出産後 ()
3. 乳幼児期 ()
4. 入学後 ()

保護者の就労状況について(母親)

問10 宛名のお子さんの **母親** の現在の就労状況をお聞きます。

【父子家庭の場合は、記入は不要です ⇒ 次ページ 問14へ】

当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 問12へ
2. フルタイムで就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である
3. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 問11と問12へ
4. フルタイム以外で就労しているが、現在、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 問13へ
6. これまで就労したことがない

<問10で、「3」、「4」に○をつけた方>

▶ **問11** 就労環境変更の希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への変更希望があり、実現の見込みがある
2. フルタイムへの変更希望があるが、実現できる見込みはない
3. 現在の就労を続けることを希望
4. 現在の就労をやめて子育てや家事に専念したい

<問10で、「1」、「2」、「3」、「4」に○をつけた方>

現在、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

▶ **問12** 週の「就労曜日」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時間及び帰宅時間をお答えください。就労曜日や就労時間が一定でない場合は、先週の状況についてお答えください。

（就労する曜日すべてに○をつけてください。□内に時間数をご記入ください。時間に何分と付く場合30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨てしてください。例：7時間30分→□8時間）

月・火・水・木・金・土・日 1日当たりの就労時間 □□ 時間

（例：AM8時15分～PM6時30分 → □8時～□9時）

家を出る時間 □□ 時 ～ 帰宅時間 □□ 時

⇒ 問14へ

<問10で、「5」、「6」に○をつけた方>

▶ **問13** 現在、就労していない方にお聞きます。就労したい希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、該当する□内に年齢、日数、時間をご記入してください。

（例：□10歳や□5歳、□8時間や□10時間）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）
→1週当たり □ 日 1日当たり □□ 時間

保護者の就労状況について(父親)

問14 宛名のお子さんの **父親** の現在の就労状況をお聞きます。

【母子家庭の場合は、記入は不要です ⇒ 次ページ 問18へ】

当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない 問16へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）で就労しており、育休・介護休業中ではない 問15と問16へ
4. フルタイム以外で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 問17へ
6. これまで就労したことがない

▶ <問14で、「3」、「4」に○をつけた方>

問15 就労環境変更の希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への変更希望があり、実現の見込みがある
2. フルタイムへの変更希望があるが、実現できる見込みはない
3. 現在の就労を続けることを希望
4. 現在の就労をやめて子育てや家事に専念したい

<問14で、「1」、「2」、「3」、「4」に○をつけた方>

育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

▶ **問16** 週の「就労曜日」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と家を出る時間及び帰宅時間をお答えください。就労曜日や就労時間が一定でない場合は、先週の状況についてお答えください。

（就労する曜日すべてに○をつけてください。□内に時間数をご記入ください。時間に何分と付く場合30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨てしてください。例：7時間30分→□8時間）

月・火・水・木・金・土・日 1日当たりの就労時間 □□ 時間

（例：AM8時15分～PM6時30分 → □8時～□9時）

家を出る時間 □□ 時 ～ 帰宅時間 □□ 時

⇒ 次ページ 問18へ

<問14で、「5」、「6」に○をつけた方>

▶ **問17** 現在、就労していない方にお聞きます。就労したい希望はありますか。当てはまる番号 1つ に○をつけ、該当する□内に年齢、日数、時間をご記入してください。

（例：□10歳や□5歳、□8時間や□10時間）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態 ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. フルタイム以外（パート・アルバイトなど）
→1週当たり □ 日 1日当たり □□ 時間

お子さんの定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問18に示した事業が含まれます。

問18 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号に○を付け、「2」を選んだ方は当てはまる記号すべてに○をつけてください。

1. 現在は利用していない
2. 以下の事業を利用している
 - ア. 幼稚園
 - イ. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
 - ウ. 認可保育所
(夜間保育所、へき地保育所を含む)
 - エ. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
 - オ. 小規模な保育施設
(国が定める最低基準に適合した施設で、市の認可を受けた定員6～19人のもの)
 - カ. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設)
 - キ. その他認可外保育施設
 - ク. ファミリーサポートセンター
(地域住民が自宅等で子どもを預かる事業)
 - ケ. その他 ()

<問18で、「2」に○をつけた方>

問18-1 現在の利用している事業の現在の利用状況について、1週当たりの日数と1日当たり利用時間をご記入ください。(例：記号 **ア**、1週当たり **5** 日、1日当たり **6** 時間 (**8** 時～**18** 時)

記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)

問18-2 今後利用したいと考える事業はありますか。当てはまる番号に○を付け、「3」を選んだ方は当てはまる記号すべてに○をつけてください。

1. 今後も利用しない
2. 現在と同じ施設を利用する
3. 以下の事業を新たに利用したい
 - ア. 幼稚園
 - イ. 幼稚園の預かり保育
 - ウ. 認可保育所
 - エ. 認定こども園
 - オ. 小規模な保育施設
 - カ. 事業所内保育施設
 - キ. その他認可外保育施設
 - ク. ファミリーサポートセンター
 - ケ. 家庭的保育
(保育者の家庭で5人以下の子どもを保育する事業。現在は本市にはありません。)
 - コ. その他 ()

<問18-2で、「3」に○をつけた方>

問18-3 新たに利用したい事業について、希望する1週当たりの日数と1日当たり利用時間をご記入ください。

記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)

問18-4 幼児教育無償化に伴い、保育料などが無料となった場合、今後利用したいと考える事業はありますか。当てはまる番号に○を付け、「3」を選んだ方は当てはまる記号すべてに○をつけてください。

1. 今後も利用しない
2. 現在と同じ施設を利用する
3. 以下の事業を新たに利用したい
 - ア. 幼稚園
 - イ. 幼稚園の預かり保育
 - ウ. 認可保育所
 - エ. 認定こども園
 - オ. 小規模な保育施設
 - カ. 事業所内保育施設
 - キ. その他認可外保育施設
 - ク. ファミリーサポートセンター
 - ケ. 家庭的保育
 - コ. その他 ()

<問18-4で、「3」に○をつけた方>

問18-5 新たに利用したい事業について、希望する1週当たりの日数と1日当たり利用時間をご記入ください。

記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)
 記号 、1週当たり 日、1日当たり 時間 (時 ～ 時)

お子さんの一時預かり等の利用について

問22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な幼稚園や保育所の利用以外に、保護者の都合などで不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（例：6日、0日）

利用している事業	日数（年間）
1. 保育所の一時保育	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. ショートステイ（宿泊を伴う一時預かり）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
3. ファミリーサポートセンター（地域住民が自宅等で子どもを預かる事業）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
4. その他保育施設（ベビーシッター、託児所など）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
5. その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
6. 利用していない ⇒ 問22-1へ	

<問22で、「6」に○をつけた方>

問22-1 現在、利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業をおこなっている場所が近くにない
3. 事業がよくわからない（利用方法、場所など）
4. 利用料がかかる
5. その他（）

問23 宛名のお子さんについて、保護者の都合などの目的で、年間何日くらい一時預かりの事業を考えていますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（これらの事業の利用には利用料が発生するものとしてお答えください）

	利用する理由	日数（年間）
1. 利用したい	ア. 私用（買い物、子どもや親の習い事）、リフレッシュ	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 など	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	ウ. 不定期の就労	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
	エ. その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日
2. 利用は考えていない		

問24 この1年間に、保護者の都合（冠婚葬祭、家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、日数をご記入ください。

	1年間の対処方法	日数（おおよそ）
1. あった	ア.（同居者を含む）祖父母・知人等に子どもを預けた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	イ. ショートステイを利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	ウ. イ. 以外の保育事業（ベビーシッター、託児所等）を利用した	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	エ. 子どもを同行させた	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
	オ. その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかった		

お子さんが小学校に入学したときの放課後の過ごし方について

問25 宛名のお子さんについて、小学生となった時、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数をご記入ください。また、児童保育センターの場合には、利用を希望する時間もご記入ください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	} 問27へ
2. 祖父母宅や友人・知人宅など	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
3. 習い事（学習塾や少年団など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
4. 放課後こども教室 （地域の方の協力を得て、放課後や週末に小学校等で児童が安全に安心して遊べる居場所を設け、体育館で遊んだり、工作等をする取り組み。保護者の就労に関わらず、全児童が利用可能。）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい ※各学校により実施回数は異なります	
5. 児童保育センター（学童） （利用には保護者が就労していることなどの要件があり、利用料が発生します。）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時まで	} 問27へ
6. ファミリーサポートセンター （地域住民が自宅等で子どもを預かる事業）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
7. その他（ <input type="checkbox"/> ）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	
8. わからない		

<問25で、「5」に○をつけた方>

問25-1 児童保育センターは何年生まで利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 小学校1年生まで
2. 小学校2年生まで
3. 小学校3年生まで
4. 小学校4年生まで
5. 小学校5年生まで
6. 小学校6年生まで

<問25で、「5」に○をつけた方>

問26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、児童保育センターの利用希望はありますか。それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。（日曜日・祝日の利用には通常の利用料とは別に利用料が発生するものとしてお答えください）（時間例：9時から、7時）

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用は考えていない
- 利用したい時間帯 ⇒ 時から 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用は考えていない
- 利用したい時間帯 ⇒ 時から 時まで

問27 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の児童保育センターの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（事業の利用には利用料が発生するものとしてお答えください）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用は考えていない
- 利用したい時間帯 ⇒ 時から 時まで

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問28 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援センターなどを利用していますか。利用しているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用日数をご記入ください。

1. 地域子育て支援センター
1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日程度
2. その他（幼稚園・保育所の広場事業等）（具体名：）
1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日程度
3. 利用していない

問28-1 上記のような地域子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいなどと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用日数をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1週当たり 日 もしくは 1か月当たり 日程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問29 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。当てはまる項目すべてに○をつけてください。

事業	知っている	利用したことがある	今後利用したい
1. ほんわかファミリー教室 (初めて出産予定の夫婦を対象に妊娠中の生活や育児を学ぶ場)			
2. マタニティ広場 (先輩ママや妊婦同士の交流と情報交換などを行う場)			
3. ママと赤ちゃんの相談会 (妊産婦を対象に助産師等専門職による講話と相談の場)			
4. すくすく教室 (一人目の乳児と母親を対象に育児の知識を学ぶ場)			
5. 家庭教育学級 (家庭教育や子育てについて学ぶ親のための学習の場)			
6. 保育所や幼稚園の体験入園など			
7. 保育所や幼稚園のあそびの広場 (地域の親子自由に集い交流できる場)			
8. 子育てサークル (乳幼児のいる保護者が集い交流や情報交換などを行う場)			
9. 子育て応援事業所 (商品の割引やサービスなど子育て支援の取組を行う事業所)			
10. 特定不妊治療費助成事業 (特定不妊治療費やその一環として行う男性不妊治療費を助成)			
11. 不育症治療費助成事業 (妊娠後に流産等を繰り返す不育症の治療費を助成)			

帯広市の子育てに関する公的支援について

問30 宛名のお子さんにとって、現在または将来的に、どのような支援があるとよいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
2. 低い家賃で住める場所
3. 生活や就学のための経済的補助
4. ひとり親の生活や就学のための相談できる場所
5. 子どもの進学や生活などについて相談できる場所
6. 仲間と出会え、一緒に活動できる場所
7. 自然体験や集団遊びなど、多様な活動機会の提供
8. 地域における子どもの居場所
9. 学校生活における心のケアやサポート
10. 読み書き計算などの基礎的な学習への支援
11. 進学を見据えた発展的な学習への支援
12. 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
13. その他（）
14. わからない
15. 特になし

問31 問29の事業や行政サービスについて、どのように調べることが多いですか。当てはまる項目すべてに○をつけてください。

1. 市役所窓口
2. 保健福祉センター窓口
3. 地域子育て支援センター
4. 子育てサークル
5. 知人・友人・職場の同僚からの情報
6. 広報おびひろ
7. 子育てガイドブック
8. 市ホームページ・SNS
9. テレビ・ラジオ・新聞
10. すこやかネット（妊婦や乳幼児のいる家庭向けの市の子育て情報サイト）
11. その他（）

育児休業や短時間勤務制度などについて(母親)

問32 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問33 宛名のお子さんが生まれたとき、**母親**が育児休業を取得しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働いていなかった ⇒ 次ページ 問34へ

2. 取得した(取得中である)

3. 取得していない

⇒ 取得していない理由(下から当てはまる番号すべてに○をつけてください)

- ① 配偶者が無職、祖父母や親戚に子どもをみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- ② 保育所などに預けた
- ③ 配偶者が育児休業制度を利用した
- ④ 子育てや家事に専念するため退職した
- ⑤ (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- ⑥ 収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった
- ⑦ 昇給・昇格などが遅れそうだった
- ⑧ 仕事が忙しかった
- ⑨ 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- ⑩ 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- ⑪ 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- ⑫ 育児休業を取得できることを知らなかった
- ⑬ 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
- ⑭ その他()

「3. 取得していない」と答えた方は、次ページ 問34へ

<問33で、「2」に○をつけた方>

問33-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問33-2へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問33-8へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 次ページ 問34へ

<問33-1で、「1」に○をつけた方>

問33-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

1. 年度初めだった
2. それ以外だった

問33-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(例: か月、歳)

実際の取得期間 歳 月 日 希望 歳 月 日

問33-4 お勤め先に、育児のため3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

歳 月 日

<問33-3で、実際の復帰と希望が異なる方>

問33-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く職場復帰した方 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
2. 配偶者や家族の希望があった
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 希望する保育所に入るため
5. その他()

(2) 「希望」より遅く職場復帰した方 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
4. 希望する保育所に入れなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他()

問33-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) } ⇒ 次ページ 問34へ
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) ⇒ 問33-7へ

<問33-6で、「3. 利用したかったが、利用しなかった」に○をつけた方>

問33-7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者や祖父母などに子どもをみてもらえる環境だった
2. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
3. 仕事が忙しかった
4. 短時間勤務にすると保育所の入所の優先順位が下がると思った
5. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
6. 短時間勤務にすると給与が減額される
7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
9. その他()

⇒ 次ページ 問34へ

<問33-1で、「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方>

問33-8 宛名のお子さんが2歳になったときに確実に利用できる保育施設などがあれば、2歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、2歳になる時に預けられる保育施設などがあっても2歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 2歳になるまで育児休業を取得
2. 2歳になる前に復帰
3. 1歳になる前に復帰
4. その他()

育児休業や短時間勤務制度などについて(父親)

問34 宛名のお子さんが生まれたとき、**父親**が育児休業を取得しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 働いていなかった ⇒ 次ページ 問35へ

2. 取得した(取得中である)

3. 取得していない

⇒ 取得していない理由(下から当てはまる番号すべてに○をつけてください)

- ① 配偶者が無職、祖父母や親戚に子どもをみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- ② 保育所などに預けた
- ③ 配偶者が育児休業制度を利用した
- ④ 子育てや家事に専念するため退職した
- ⑤ 収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった
- ⑥ 昇給・昇格などが遅れそうだった
- ⑦ 仕事が忙しかった
- ⑧ 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- ⑨ 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- ⑩ 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- ⑪ 育児休業を取得できることを知らなかった
- ⑫ その他 ()

「3. 取得していない」と答えた方は、
次ページ 問35へ

<問34で、「2」に○をつけた方>

問34-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問34-2へ

2. 現在も育児休業中である ⇒ 問34-8へ

3. 育児休業中に離職した ⇒ 次ページ 問35へ

<問34-1で、「1」に○をつけた方>

問34-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

1. 年度初めだった 2. それ以外だった

問34-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(例: □ 6か月、□ 10か月)

実際の取得期間 □ 歳 □ □ か月 希望 □ 歳 □ □ か月

問34-4 お勤め先に、育児のため3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□ 歳 □ □ か月

<問34-3で、実際の復帰と希望が異なる方>

問34-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く職場復帰した方 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)

- 1. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
- 2. 配偶者や家族の希望があった
- 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
- 4. 希望する保育所に入るため
- 5. その他 ()

(2) 「希望」より遅く職場復帰した方 (当てはまる番号すべてに○をつけてください)

- 1. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 2. 配偶者や家族の希望があったため
- 3. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
- 4. 希望する保育所に入れなかったため
- 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6. その他 ()

問34-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) } ⇒ 次ページ 問35へ
- 2. 利用した
- 3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった) ⇒ 問34-7へ

<問34-6で、「3. 利用したかったが、利用しなかった」に○をつけた方>

問34-7 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 配偶者や祖父母などに子どもをみてもらえる環境だった
- 2. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 3. 仕事が忙しかった
- 4. 短時間勤務にすると保育所の入所の優先順位が下がると思った
- 5. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 6. 短時間勤務にすると給与が減額される
- 7. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 9. その他 ()

⇒次ページ 問35へ

<問34-1で、「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方>

問34-8 宛名のお子さんが2歳になったときに確実に利用できる保育施設などがあれば、2歳になるまで育児休業を取得しますか。それとも、2歳になる時に預けられる保育施設などがあったとしても2歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 2歳になるまで育児休業を取得
- 2. 2歳になる前に復帰
- 3. 1歳になる前に復帰
- 4. その他 ()

帯広市の子育て支援について

問35 仕事と子育てを両立するうえで大変だと感じることは何ですか。次の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事で急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりにみてくれる人がいない
3. 家族の理解と協力が得られない
4. 職場の理解と協力が得られない
5. 子どものほかに面倒をみななければならない人がいる
6. 子どもを預かってもらえる施設（保育所など）が見つからない
7. 子どもと一緒に過ごす時間が少ない
8. その他（具体内容）
9. 特に感じることはない

問36 現在の子育てについてどのように感じられていますか。次のもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 子育てに喜びや楽しみを感じている
2. 子育てに生きがいを感じている
3. 子育てに強い不安や負担を感じている ⇒ 問36-1へ
4. その他（具体内容）

→ **<問36で、「3」に○をつけた方>**

問36-1 どのような理由で強い不安や負担を感じますか。次の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる経済的な負担が大きい
2. 仕事と子育ての両立が難しい
3. 子どもの健康や発達に不安がある
4. 教育・保育事業が利用しにくい
5. 安全な遊び場など身近に子どもの居場所がない
6. 周囲に相談相手や手助けをしてくれる人がいない
7. 自分自身のために、ゆとりの時間等が持てない
8. その他（

問37 お子さんの人数について、理想と現実の人数は何人ですか。

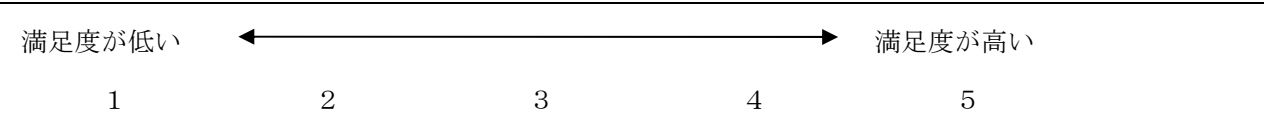
理想 人 現実 人

<問37で、理想と現実の差のある方>

問37-1 理想と現実の差をなくすためにどのような課題を解決することが必要ですか。特に当てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 子育てや教育にかかる経済的支援
2. 子育て世帯向け住宅の整備
3. 希望すれば誰でも利用可能な幼稚園や保育所などの施設
4. 多様な保育サービスの充実
5. 不妊治療支援
6. 母子保健や乳幼児医療支援
7. 育児休業制度の利用促進
8. 労働時間の短縮
9. 父親の育児参加
10. 地域での子育てを支える仕組みづくり
11. 育児の悩みやストレスの解消
12. その他（

問38 帯広市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問39 以前（3年～5年前）と比較し、帯広市における子育ての環境は良くなったと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大変良くなった
2. どちらかといえば良くなった
3. 変わらない
4. どちらかといえば悪くなった
5. 悪くなった
6. わからない

問40 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、11月22日までにご投函ください。